

人をつなぐ 文化のしかけ

全国各地を巡り、アートによる地域の活動を見てこられた福知山公立大学：平野真教授が、文化・芸術の果たす役割や仕掛けづくりを解説します。人々との協働によって地域を成長させ、新たな生きる活力を地域にもたらす方法や交流のあり方を探ります。

また、第2部では、中丹地域の文化活動者と、パネルディスカッションを行い、文化による町づくりを考えます。

ぜひ、お申込みの上、ご参加ください。

参加者募集

日時

平成29年

2月18日(土) 14:00~16:00

会場

綾部市里町久田21-20
綾部市中央公民館 (中丹文化会館となり)

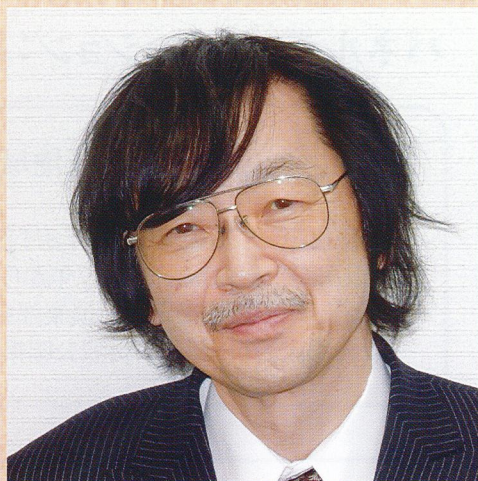
お申込み

定員:100名(中学生以上の方)
1月17日(火)~2月15日(水)
(先着順に受付し、定員になり次第締め切ります。)

内容

第1部 講演会 講師:平野真氏
「アートによる町づくり」

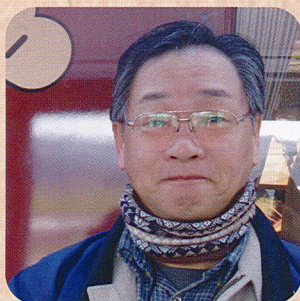
第2部 パネルディスカッション
「人をつなぐ文化のしかけ」



平野真氏 (福知山公立大学教授)

コーディネーター:平野真氏
パネリスト:中丹地域の文化活動者3名

入場無料
(事前申込みが必要)



赤松武司氏
(大江地域観光案内倶楽部会長)



夜久早百合氏
(野いちごDON太鼓代表)



林伸次氏
(黒谷和紙協同組合理事長)

主催

中丹地域文化力委員会

【中丹文化協会連絡協議会/3市文化協会/(公財)舞鶴市文化事業団
(公財)京都府中丹文化事業団/3市/3市教育委員会/京都府中丹広域振興局】

プロフィール

講演会講師：コーディネーター

平野 真 （福知山公立大学地域経営学部教授）

早稲田大学理工学部応用物理学専攻卒業、理学修士、博士(工学、電子工学専攻)、MBA(米国ペンシルバニア大学)、博士(学術、国際関係学専攻)。

NTT先端技術総合研究所、NTTエレクトロニクス、NEL America Inc.(米国駐在)、高知工科大学、芝浦工業大学を経て現在福知山公立大学に奉職。2005年～2011年、高知工科大学大学院で社会人の経営教育に従事する傍ら、県庁と連携して地域の新規事業育成活動に従事、各種アドバイザーとしても活動

半導体の研究者から、社内ベンチャー事業を経て、ビジネスそして社会科学の分野にシフト。

専門分野：国際経営学、地域活性化論、イノベーション論、起業論、技術経営論。

パネルディスカッション：パネラー

赤松 武司 （大江地域観光案内倶楽部会長）

昭和27年生まれ。昭和50年3月名城大学法学部卒業、昭和52年4月から2年間働いていた京都から帰って大江町役場に採用される。昭和57年から「鬼伝説を活かした町づくり」を行う。平成15年3月退職。

現在、大江地域観光案内倶楽部会長、大江地域里山研究会代表、鬼を語る会会長、福知山市国際交流ネットワーク会議副会長、環境省自然公園指導員(大江山)他として活動中。

夜久 早百合 （野いちごDON太鼓・子ども太鼓疾風代表）

平成8年創作和太鼓女性グループ「野いちごDON太鼓」、14年には「子ども太鼓疾風」を結成。以後、和太鼓ユニット「ひとつ」・和太鼓「三音」・中丹太鼓おもてなし隊「絆」に所属。中丹芸術祭「ジュニア文化祭」推進委員。夜久野町文化協会会員(和太鼓・茶道)

平成4年から地域活性事業に参加、やくの高原まつり実行委員会事務局・町おこしグループときめき会事務局として、やくの高原まつり・しだれ桜の夕べ・玄武岩コンサート・宝山早朝ハイキングなど自然を活かしたイベントを多くの仲間と共に開催。

林 伸次 （黒谷和紙協同組合理事長）

1991年京都精華大学卒業。1996年黒谷和紙協同組合研修生となる。1998年独立し黒谷和紙協同組合賛助会員となる。2000年「京もの技術後継者」の認定を受ける。2006年京の若手職人海外派遣事業(京都府主催)に選出されイタリア研修を受ける。2008年京の若手職人総合技術コンクール入選、「京もの指定工芸士」に認定される。同年カナダの「World Washi Summit 2008」に参加。2009年黒谷和紙協同組合の組合員となる。2010年オランダ・アムステルダムでデモンストレーションと紙漉きの体験を行う。2011年イタリア・トレントの「木のトリエンナーレ展」に京都伝統工芸大学から派遣される。

現在、京都伝統工芸大学、京都精華大学、京都林業大学で教える。2012年から黒谷和紙協同組合理事長。